

年頭挨拶

明けましておめでとうございます。

皆様、お健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

世界経済は、コロナウィルス感染症が一応の収束を迎えた 2023 年以降は堅調に回復すると期待されておりましたが、ウクライナ-ロシア間の戦争や中東における紛争の継続、中国の不動産バブル崩壊とも言える状況に端を発した景気低迷、これを埋め合わせるが如き一次産品の過剰な輸出等が影を落とし、未だ不安定な状態が続いております。また、各国が自国経済の維持・建て直しに注力する中で保護主義的傾向が顕在化し通商リスクが高まりつつあります。

我が国経済を見ると、国内外の自動車需要の伸び悩みや労働力不足・資材高による建設工事の着工遅れ等の影響から、内需は全般に力強さに欠け、個人消費の回復は見られるものの成長は緩やかなものに留まっています。粗鋼生産量も 2022 年度以来 9 千万トンを割り込み、かつ漸減し続けている状況にあり、耐火物生産量も昨年度の水準には及ばない見通しとなっています。

2025 年も内外の政治経済の見通しは依然不透明であり、為替・金利変動、原材料・エネルギーコスト変動等、耐火物業界にとってもチャレンジングな一年となることが予想されます。会員の皆様それぞれが、原材料の安定調達、省エネやコスト削減と言った「守り」の充実とともに、ゼロエミッションを目指す社会のニーズやお客様の満足に資する商品の価値やサービスの向上に積極的に取り組み、社会に対し存在を発信し続ける「攻め」も大切にし、会員各社の総力の結集で耐火物業界を盛り立てて行ければと願っております。

また、安全への取り組みについてお願いしたいことがございます。

昨年は、会員皆様のご尽力により、労働災害の総件数は前年比で減少いたしました。災害事例の研究や災害防止に向けた社内教育の充実等、改善に向けた活動が種々なされたものと思います。安全への取り組みに終わりはありません。耐火物業がサステナブルな産業として社会に貢献し続けるためにも、そして従業員の方々が安心して仕事ができる環境をつくるためにも、無災害達成に向けて協会一丸となった取り組みを進めていきたいと思っております。引き続きご協力のほどよろしくお願いいたします。

末尾となりましたが、会員各社の益々の発展、社員並びにご家族の皆様のご健康とご多幸を祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

皆さま、ご安全に！

2025 年 1 月吉日
会長 江川 和宏